

特別支援教育の充実に向けた支援の拡充について

【担当省庁】文部科学省

上牧町における取組

(現状・課題)

通常の学級に在籍していて、教育上特別の支援を必要とする児童生徒数が増加している。当町の小中学校では、児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた指導体制の整備として、障がいの状態により通常の学級での一斉学習では理解が困難であったり、立ち歩きや飛び出し、落ち着いて学習に集中できないなど、個別対応の必要な児童生徒には、特別支援教育支援員を配置し、通常の学級での一斉学習の中で個別に寄り添った支援を行うなど、学習や生活上のサポートを行っている。

また、近年の障がい者の権利を守る関係法令の整備に伴い、インクルーシブな教育が保護者から強く求められるなど、個別の教育ニーズも多様化している状況であるが、特別支援教育支援員を十分に配置することで、通常学級との交流及び共同学習と特別支援学級での学習指導を児童生徒個々の状況にあわせて適切に行うことができると考える。

その他、障がいのある児童生徒に対しては、個々の教育ニーズに応じ、多様な学びの場が提供されているが、近年では、重度の障がいのある児童生徒が特別支援学級に入級するケースも増加している。小中学校の特別支援学級の学級編制においては、障がいの種別のみで、単一・重複の別なく入級する学級が決定されるため、特別支援学校であれば3人1学級で学級編制されるような重複障がいのある児童生徒が、8人1学級で学級編制されている。個々のニーズに対応したきめ細やかで質の高い教育を実現するためにも、一層の合理的な配慮が必要となっているが、現時点で十分に人員を確保できておらず、(令和4年度実績 対象児童生徒数/特別支援教育指導員数【上牧幼稚園】5人/5人【上牧小学校】22人/5人【上牧第二小学校】18人/5人【上牧第三小学校】20人/7人【上牧中学校】17人/5人【上牧第二中学校】8人/4人)また、十分な人員の配置を町単独予算で実現するには、財政的に難しい状況である。

特別支援教育に関する体制整備・支援状況

	項目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	特別支援学級在籍児童生徒数	人	67	69	74	85
2	特別支援学級数	クラス	16	15	16	21
3	特別支援教育配置スタッフ数	人	31	29	30	31
4	教育相談件数	件	5	9	10	5
5	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	31	30	44	57

国にお願いすること

特別支援学級に在籍する児童生徒の障がい、重度・重複化・発達障害などのケースが増加していることから、一人ひとりに応じた適切な対応が可能な教職員・支援員の確保が今後ますます重要になると考える。については、教職員定数に係る法改正と特別支援教育指導員を配置するためのさらなる財政支援措置をお願いしたい。